

i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス

MSCI ACWI ESG Leaders 指数のご紹介②

2022年11月11日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

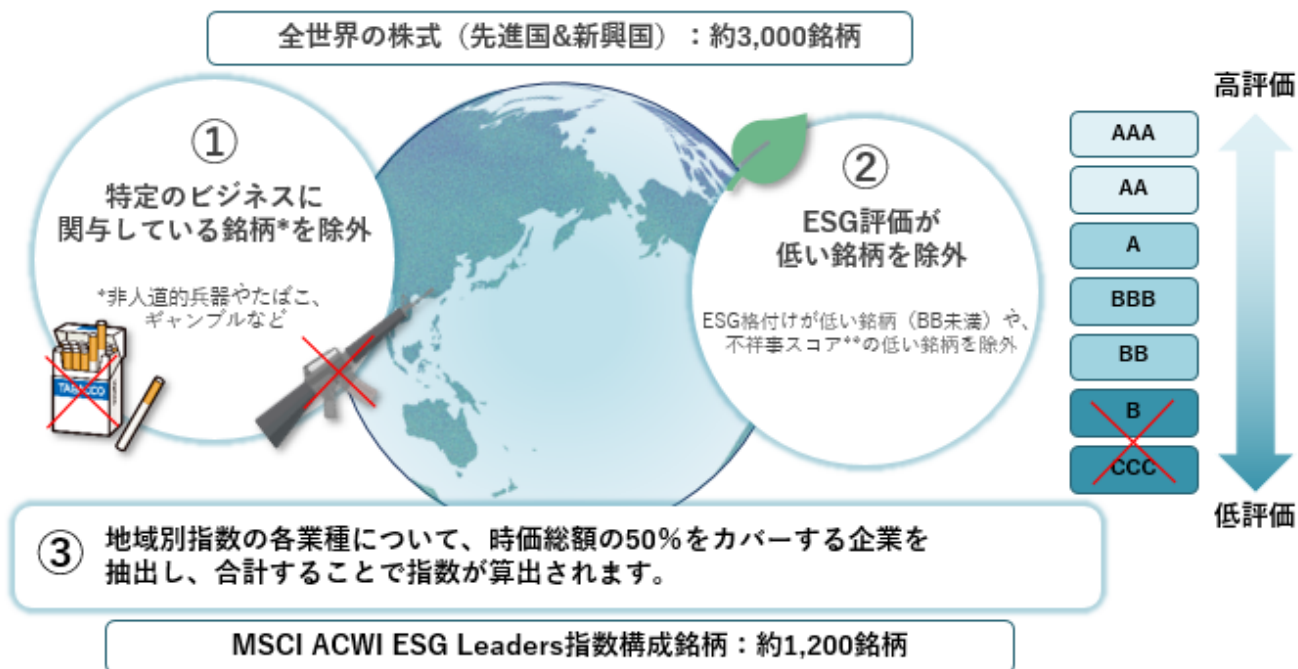
このたび「i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス」の特徴についてまとめましたのでご紹介いたします。

MSCI ACWI ESG Leaders 指数とは？

当指数は先進国と新興国からなる全世界の株式の中から、ESG 評価（環境： Environmental 、社会： Social 、ガバナンス： Governance ）が高い企業の株式を抽出し、時価総額加重平均で算出した指数です。

ESG投資を通じたSDGs達成への貢献と、持続可能な企業成長による中長期的なリターンの獲得が期待できます。

指数構築プロセスのイメージ



**不祥事スコア：ESGに深刻な負の影響を与える不祥事に巻き込まれているかを示すスコアです。0-10まであり、0が最も深刻な不祥事になります。

どんな企業がESG（環境・社会・ガバナンス）格付けが高いのか？

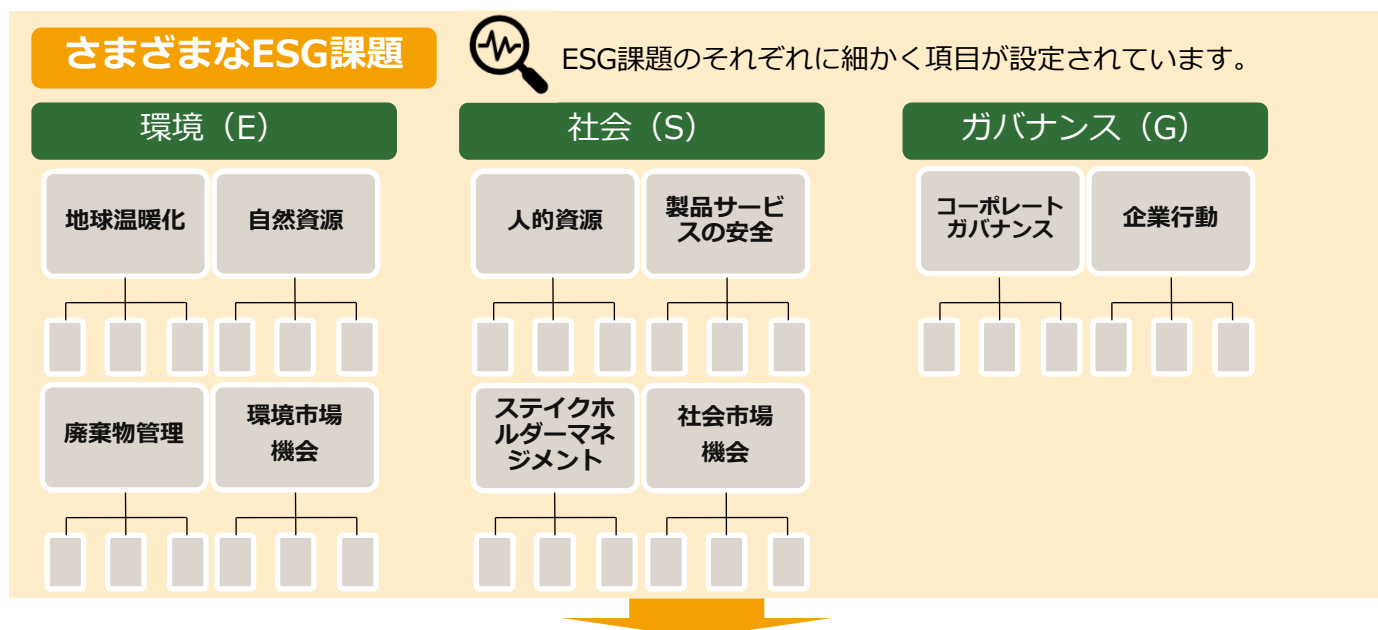
MSCIのESG格付けの算出は以下のように行われています。

- ① 業種ごとに重要なESG課題（Key Issue）を選定。
- ② その課題についてのリスクエクスポージャー（どのぐらいのリスクがあるのか）とリスクマネジメント（リスクに対してどのぐらいの管理能力があるか）を数値化し、ESG課題（Key Issue）スコアを算出。
- ③ 各ESG課題（Key Issue）スコアをまとめたものを業種調整後スコアとして算出し、格付けを決定。

評価におけるデータソースは、企業の開示情報、政府、学術団体、非政府組織（NGO）等の公開情報を使用しています。ESG格付けの評価の見直しは基本年一回行い、随時適切なESG課題（Key Issue）選定とスコアリングを行います。

① 業種ごとに重要なESG課題（Key Issue）を選定

事業内容によって環境や社会に与える影響は異なるため、重要なESG課題は業種ごとに異なります。そのため、さまざまあるESG課題の中から、リスク顕在時に企業財務にインパクトを与えうるESG課題を業種ごとに複数選定します。



(出所) MSCI

② ESG課題（Key Issue）についての リスクエクスポージャーとリスクマネジメントを数値化し ESG課題（Key Issue）スコアを算出

各企業のESG課題（Key Issue）に関わるリスクエクスポージャー（どのぐらいのリスクがあるのか）とリスクマネジメント（リスクに対してどのぐらいの管理能力があるか）を測定しESG課題（Key Issue）スコアを算出します。

スコアの高さは、リスクエクスポージャーが低く（事業活動におけるリスクが小さく）、リスクマネジメントが高い（リスク管理能力が高い）銘柄が高くなります。リスクエクスポージャーのレベルが高い企業は、相当するリスクマネジメント能力が求められるためバランスも重要です。

リスクエクスポージャー

事業活動の

- タイプ
- 場所
- 規模



リスクマネジメント

- 方針&コミットメント
- ターゲット&プログラム
- パフォーマンス
- 不祥事

例) 鉱山会社の水資源枯渇課題の場合

各地域の事業所における
水資源枯渇リスクを集計



ESGリスクの度合いと
そのリスクを管理できて
いるかを数値化します。

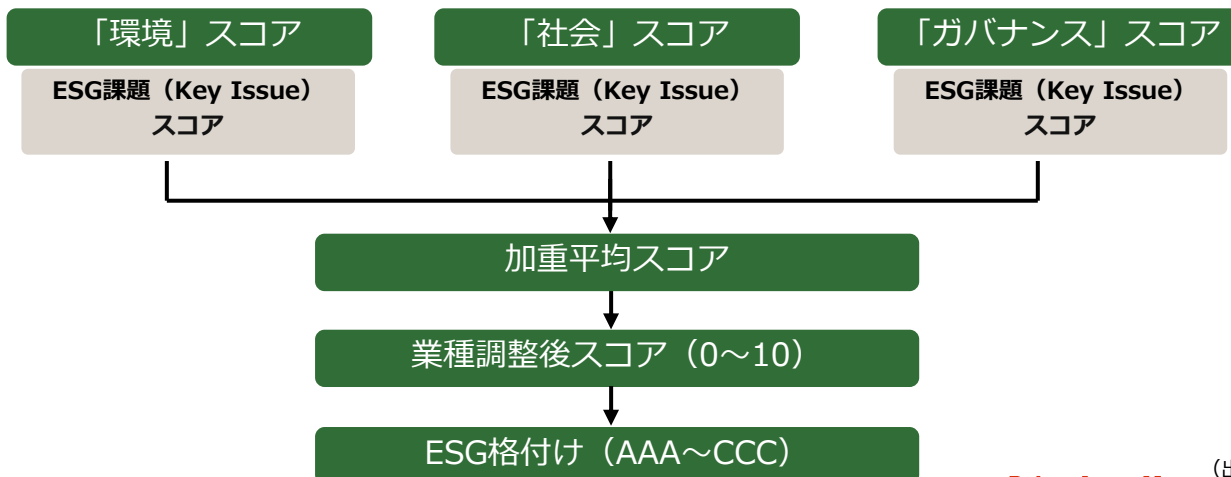
水使用削減目標の設定



ESG課題（Key Issue）スコア

③ 各ESG課題（Key Issue）スコアをまとめたものを 業種調整後スコアとして算出し、格付けを決定

E、S、Gについて計算したスコアをまとめて業種調整後スコアを算出し格付けが決定されます。



■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界の株式に投資し、投資成果を MSCI ACWI ESG Leaders 指数（円ベース）の動きに連動させることをめざします。

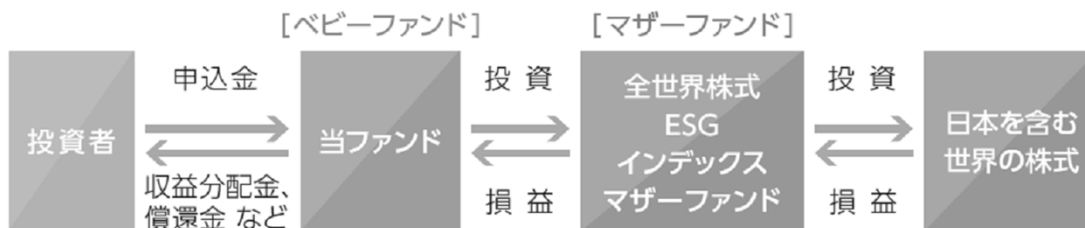
（注）「株式」…DR（預託証券）を含みます。

ファンドの特色

1. ベンチマークである MSCI ACWI ESG Leaders 指数（円ベース）への連動をめざしたポートフォリオを構築します。
また、運用の効率化を図るため、日本を含む世界の株価指数との連動をめざす ETF（上場投資信託証券）、株価指数先物取引を利用することがあります。

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



● MSCI ACWI ESG Leaders 指数について

先進国と新興国からなる全世界の株式の中から、ESG 評価（環境：Environmental、社会：Social、ガバナンス：Governance）が高い企業の株式を抽出し、時価総額で加重した指数です。

[特徴]

- ・ 「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス」を構成する地域別指数に組み入れられている企業のスクリーニングを行ない、適格銘柄の順位付けをしたうえで、地域別指数の各セクターおよび地域について、時価総額の50%をカバーする企業の抽出をめざしています。MSCI ESGレーティングおよびMSCI ESG Controversies Scores の適格性基準に満たない企業、またアルコール、ギャンブル、たばこ、銃器などに関与している企業は除外されます。
- ・ ESG 評価の優れた全世界の株式の動きを表す代表的なベンチマークです。

● 指数の著作権等について

MSCI ACWI ESG Leaders 指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《MSCI社のESG格付について》

- MSCI社は世界最大級のESGリサーチ会社で270人以上のESGアナリストが所属。
- 同社の算出するESGインデックスは世界最大級の機関投資家であるGPIFなどにも採用されています。

(出所) MSCI



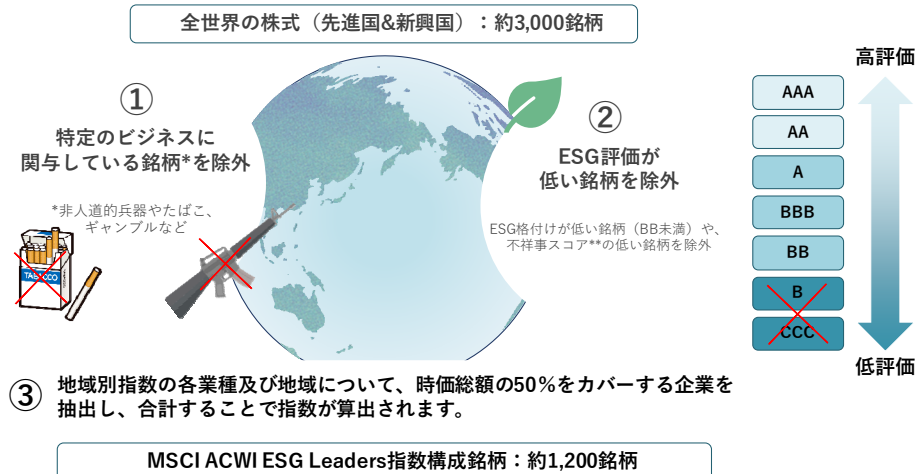
※環境と社会のリスクは業種によって異なるため、各業種ごとに影響度合いが大きい観点を評価します。
 ※2021年3月末時点

《指数の構築プロセスのイメージ》

- MSCI ACWI ESG Leaders 指数の算出概要

当指数は**ESG評価の優れた全世界の株式の動きを表す代表的な指数**です。

指数の構築プロセスのイメージ



ESG投資を通じたSDGs達成への貢献と、
 持続可能な企業成長による中長期的なリターンの獲得が期待できます。

(出所) MSCI

※ **不祥事スコア：ESGに深刻な負の影響を与える不祥事に巻き込まれているかを示すスコアです。0-10まであり、0が最も深刻な不祥事になります。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 0.209% （税抜 0.19%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

i F r e e 全世界株式ESGリーダーズ・インデックス 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。